

令和7年度 障害を理由とする差別に関する相談状況について

<相談件数概要>

- ・ 受付時においては、不当な差別の訴えに関わる相談、合理的な配慮に関わる相談に類型したものが29件、「その他」の相談として類型したものは20件であった。
- ・ 同一相談者からの相談もあり、実人数としては32人の相談者に対応した。

<相談件数>

相談件数	障害者差別解消推進員（県）	34件	合計
	障害者差別地域相談員（市町村）	15件	

受付時における分類			県	地域
	不当な差別に関わる相談	9件	3件	6件
	合理的配慮に関わる相談	20件	13件	7件
	その他	20件	18件	2件

□ 相談件数の推移

区分	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
障害者差別に関わる相談件数	43件	54件	64件	52件	71件	33件	12件
内数) 不当な差別に関わる相談件数	22件	24件	22件	22件	25件	12件	5件
内数) 合理的配慮に関わる相談件数	21件	30件	42件	30件	46件	21件	7件

区分	R5	R6	R7	累計
障害者差別に関わる相談件数	16件	24件	29件	398件
内数) 不当な差別に関わる相談件数	4件	9件	9件	154件
内数) 合理的配慮に関わる相談件数	12件	15件	20件	244件

□ 「その他」の相談

「障害者差別に関わる相談」として受理したが、傾聴事案として対応したもの、及び不当な差別や合理的配慮の提供に関わる相談として類型しなかったもの

区分	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
障害者差別解消推進員	10件	11件	32件	27件	30件	16件	11件
障害者差別地域相談員	16件	16件	38件	6件	35件	2件	2件
合計	26件	27件	70件	33件	65件	18件	13件

区分	R5	R6	R7	累計
障害者差別解消推進員	13件	18件	18件	186件
障害者差別地域相談員	2件	4件	2件	123件
合計	15件	22件	20件	309件

□ 障害種別相談件数

- ・ 肢体・内部障害を含む身体障害のある方からの相談が多かった。
(同一人物からの相談のため)

障害種	件数	障害種	件数
聴覚障害	4	発達障害	4
視覚障害	7	難病	0
身体障害	19	その他	2
知的障害	1	不明	2
精神障害	11	計	50

← 重複障害の方がいるため

□ 相談者別相談件数

- ・ 当事者からの相談がほとんどだった。
- ・ その他は、障害者団体や知人からの相談や地域相談員から推進への相談であった。

相談者	件数	相談者	件数
当事者	34	事業者	0
家族	4	その他	10
支援者	3	計	51

← 複数人での相談があったため

□ 相談分野別相談件数

- ・ 公共交通では、バスや鉄道についての相談が多かった。
- ・ その他としては、特定敷地内の駐車スペースや話を聞いてもらいたいという希望、歩道を歩いている際の通行人への苦情などがあつた。

相談分野	件数	相談分野	件数	相談分野	件数
労働・雇用	5	不動産	2	建物	2
サービス	5	医療	3	情報・コミュニケーション	2
行政	5	教育	1	その他	9
福祉	5	公共交通	10	計	49